



建設通信

2016年7月号
Vol. 57

Qui クイックス株式会社
http://www.quix.co.jp
東京都渋谷区宇田川町2番1号
03-5456-1511 (TEL)
03-5456-1811 (FAX)

発行
者

6月に鹿島がUAVを使ったレーザー測量で、東京ドーム4.3個分の面積を13分で測量し高精度の結果を確認したようです。こうした先端技術は、測量設計のこれまでのビジネスモデルを大きく変えていくでしょう。発行責任者 牧坂 勝

写真管理のすぐれもの！「TREND写真管理」

大量の写真データを表示したり、枠に合わせて貼り付けたり、現場ごとに写真を整理、管理したり…どれも時間のかかる作業です。そんな悩みを解決するのが「TREND 写真管理」です！

★写真データを高速表示★

数千枚のデータもストレスなしで高速表示されます



★写真の管理が簡単、速い★

現場毎、工種毎にフォルダ分けがされ、それぞれのフォルダに直接カメラから取り込むことができます。属性情報も入力・管理できます

★ワンクリックでExcel出力、アルバム作成が可能★

管理した写真を自由に出し成果として出すことができます。

価格：¥50,000-(税別)

UAV、ドローンが新たなビジネスチャンスを広げる!?

2011年の震災以降、再生可能エネルギーへの関心の高まりや、再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)の始まりなどにより、国内でのメガソーラー建設が一気に加速しました。このソーラーパネルを設置するには大規模な土地が必要となり、造成が行われます。

そこで注目されているのが、UAVを使用する測量です。大規模な土地の測量の場合、TSなどを使用した従来の方法では人や時間が必要となりますが、実際にUAVを使用する測量が行われたケースでは、従来の方法よりもコストと時間を大幅に削減できることが実証されました。

メガソーラー建設は、一時の勢いは収まりつつあるようですが、それでも依然国外の企業において、目が離せない市場のようです。

UAV、ドローンは調査、測量の様々な場面で活用できると本紙で紹介してきましたが、航空法の改正などで、今後様々なビジネスでの使用が標準化されていくことが見込まれます。その前に一度ご検討されるのはいかがでしょうか？

i-Constructionの新基準スタートにより変わる

平成28年3月より国土省のi-Constructionで、UAV(無人飛行機)を用いた公共測量マニュアルや、監督・検査基準など15の新基準、ICT建機のリース料を含む新積算基準がスタートしました。この新基準に対応することでどんな変化があるのでしょうか。UAVを用いた公共測量マニュアル(案)では、ドローンを用いた写真測量、3次元測量が可能になり、公共測量の成果にUAV写真による3次元点群データが追加されました。例えば、3次元データによる出来形管理では従来は、40メートルごとの管理断面で高さ、幅、長さを測定して評価しています。i-Constructionの新基準では、UAV(無人飛行機)の写真測量等で得られる3次元点群データからなる面的な竣工形状で評価されます。つまり、3次元の点群データにより、設計データとの差分を管理することになります。

ですから、UAVを用いた3次元地形測量に対応すること。点群データを効率的に成果にするソフトの導入。これが新基準に対応するために必須となってきます。今秋発売される点群処理ソフトTrendPointVer.4(福井コンピュータ)は、i-Constructionの新基準での成果作成に対応する新機能が搭載されます。(詳細は福井コンピュータのWebページ参照)また、9月開催の弊社主催セミナーでもこの情報を扱います!!

プライベートや仕事で役立つかもしれないアプリたち

スマートフォンの普及により、今は便利で実用的な様々なアプリが注目されています。そこで今回は弊社社員が使用している便利なアプリをご紹介します!

【MAPS.ME】インターネット接続不要の便利地図アプリ

オフラインで地図にアクセスできる
徒歩や車のナビゲーションにも対応している

【そら案内】日本気象協会のデータを利用した天気予報アプリ

日本気象協会の公式アプリ。Android版では最新予報(3日分)と週間予報をチェックでき、iOS版では今日と明日の詳細な予報と週間予報を一覧できる。

最新情報セミナー開催決定!!

昨年好評だった、弊社主催の最新情報セミナーを今年も開催します。日時：2016年9月8日、9日、場所：福井コンピュータ銀座ショールームとなります。弊社WEBサイトで情報を随時更新していきますので、どうぞご期待ください。

ワンポイント
アドバイス!

Windows10にアップグレード後、元のOSに戻したい時は?

Windowsアップデートを自動にしていた場合、自動的にインストールされるwindows10ですが、31日以内であれば、回復コマンドで元のwindowsに戻すことができます! ※画面はWin7の場合です



※作業前にデータのバックアップを行うことをお勧めします。また31日以内でも回復出来ない場合もあります。